



モデル事業

アンコンシャス・バイアスを学ぼう

こんにちは、市民人材バンク推進員の羽石です。この度、アンコンシャスバイアスをテーマに3月8日（水）にお話しをさせていただきました。

私たちは育った環境や文化、受けてきた教育とその地域の慣習などによってたくさんの思い込みや偏見をもっている場合があります。そのことにまずは自分から「振り返ってみる」「気づいてみる」「意識的に配慮してみる」機会の場として今回のモデル事業が実施されました。

文部科学省の男女共同参画の推進に向けた教員研修モデルプログラム（教員向け）動画を見ながら、各世代の方々の育ってきた環境による見えてこなかった過去の偏見や考え方など、参加者全員でアンコンシャスバイアスが存在している（していた）ことについて理解を深めました。

日常的に肌の色や出身地、言葉遣いや方言などから、無意識的にその人そのものを決めつけてしまう自己判断

～日常における無意識的な思い込み～



があることに自分自身が気づくことが大切です。今回は子どもの活動場面などの事例を中心に話しをしました。職場や企業・組織内など社会活動の場面でもたくさんの事例があるので、この機会に自身が学びを重ね、よりよい生涯学習活動に繋がることを願っております。ご参加頂きました市民の皆さまありがとうございました。

（記・No.400 市民人材バンク推進員の会 羽石 貴裕）

やってみようボッチャ体験 ～老若男女、みんなが楽しめるスポーツ～



今年度富士見

市市民人材バン

クに登録して初

めての事業が

「やってみよう

ボッチャ体験

でした。

ふじみ野交流

センターの多目

的ホールにおい

て今年3月18日（土）に開催されました。

参加者は定員の21名、みんなが楽しめる

スポーツ、事業としてはまずまずの滑り出

しました。

私はボッチャのルールを富士見市スポー

ツ推進委員の講座で学びました。富士見市

トップサポーターとしての活動や子どもス

ポーツ大学☆ふじみなどで、小中学生の障

がい者スポーツの体験講座をお手伝いしま

したが、今回は講師としての参加で、緊張

してのスタートでした。ルール説明と参加

者の練習試技をした後、ゲーム形式での

ボッチャ体験を進めると、会場全体に大き

な歓声上がるようになりました。

参加者全員がにこやかに楽しく、心に残

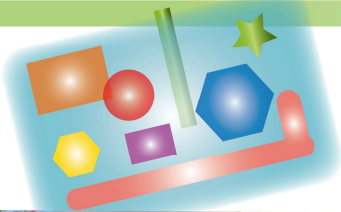
る体験ができたのではないかと思います。

また機会があったらお手伝いしたいと思

います。

（記・No.434 笠原 清和さん）





ボードゲームの試遊で 市民人材バンクをアピール!



市民人材バンク推進員の会は、市民人材バンクをPRするため、第21回ふじみ野文化祭（3月4日、5日）にブースを出展しました。初日は、山下真実さん（No.409）によるボードゲーム体験。山下さんがボードゲームに興味を持たれたのは学生時代。以来、世界各国の200以上にのぼるボードゲームを収集されています。

興味津々、私も早速ゲームに参加させていただきました。

驚いたのは、格調高い調度品のような素敵なゲーム遊具、その遊具が私達をファンタジックな世界に誘ってくれます。盤を支えるスティックを盤が傾かないよう一本ずつ抜き取り、その本数を競うゲームなど、大人も子どもも楽しめる4種類のゲームに興じました。どのゲームも時間の経つのを忘れるくらい面白いだけでなく、集中力や思考力も試されます。

ゲームに参加した小さいお子さんをもつお母さんも、是非家に帰って子どもにもやらせたいと大絶賛でした。

私たちが未だ知らない素敵なボードゲームが世界中には沢山あるんですね。

ゲーム紹介後、山下さんは、多種多様なボードゲームをもつと普及させるのが私の役目とおっしゃっていました。

（記・市民人材バンク推進員の会

中澤 佳珠代）

文化祭で「折り紙付きメッセージカード作り」

少し温かくなってきた3月初旬。ふじみ野文化祭で「折り紙付きメッセージカード作り」と題して、折り紙講座をおこないました。

最初は「難しいのかな」「何を折るのかな」と様子を見ていたお子さんが、一旦折り始めるとぐいぐい「折り紙の世界」に没頭し無言で折っていたり、「初めて娘と折りました!」というお父さんが嬉しそうに見せて下さったり…。5歳の女の子が教本をお手本にサクサクと一人で完成させて、周囲の大人を驚かせる場面もありました。

改めて折り紙の楽しさ、老若男女問わず集中できる奥深さを感じることができました。



富士見市の人材バンクは自分自身が育つ「場」であり、知らない自分に出会える「場」でもありますね。できることを起点にして、さらに新しい自分を磨いていきたいと思えます！（記・No.351 小栗 知実さん）

お正月リース講座

雅な手作りリースを体験



令和4年12月21日ふじみ野交流センターにおいて「お正月リース」の講座が行われました。

講師は加納かおるさん(No.2008)です。立体的な物を接着する時に使用するグルーガンを初めて使う参加者に、丁寧に指導されていました。

参加者の方々は出来上がった作品を見て、よいお正月が迎えられると喜んでいました。

加納かおるさん、ありがとうございます。そして、素敵な企画を立ててくださったふじみ野交流センターの職員の方々に感謝いたします。

(記・市民人材バンク推進員の会)

佐々木 眞理子

「トレンディ」コミュニティ大学で超マジックを披露

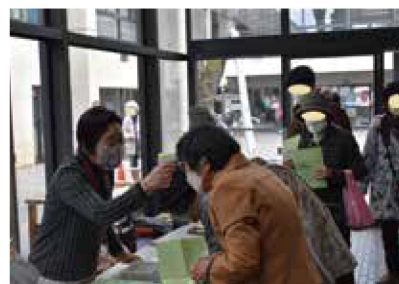


令和5年1月6日(金)トレンディさん(No.169)がコミュニティ大学でマジックを披露されました。まずは、マジックの歴史についてのお話をいただきました。そして、いざマジックが始まると、手に持っていた杖がひとりりで動き出し…まるで紐がついているかのように操るマジシャンの手の動きに、みなさん拍手喝采でした。トレンディの皆さま、ありがとうございました。

(記・市民人材バンク推進員の会 佐々木 眞理子)

イベント協力

「3・11を忘れないコンサート」の受付をお願いしました



「3・11を忘れないコンサート」は、東日本震災の翌年3月に開催した追悼・復興応援コンサートから始まりました。

このコンサートを通じて被災された方を励まし、亡くなられた方に鎮魂の祈りを捧げ、震災を風化させずに世代を超えて語り継いでいくことを願って実施しています。

第10回目となる今回の出演者は、被災木でつくられた弦楽器(バイオリン、チェロ、ピアノ)の演奏者4名と、南畑小学校合唱団・富士見高校吹奏楽部・市内で活動するサークル3団体です。

このコンサートでイベント協力をしていただいた方は、神作トモ子さん(No.415)、中澤克枝さん(No.264)、横川勉さん(No.402)です。入場時の受付事務をお願いしました。

中澤さん、横川さんは以前にもお願いしたことがあり、とても慣れていらっしゃいました。神作さんは初めてということでしたが、入場者の方の中に顔見知りの方が多く、コミュニケーションを取りながら、スムーズに対応していただきました。ありがとうございました。

(記・鶴瀬公民館職員)

推進員の会

推進員の会研修、Facebookはむずかしい…

先日市民人材バンク推進員の会の研修がありました。スマホを使いこなせていない自分が、難しい講義を受けて、どうする家康…じゃないけれど簡単に決断できないことは解っていました。

講師の柳瀬先生は優しく、参加者全員真剣に聞き入っていました。丁寧な説明で本当にありがとうございました。参加者は現役の方もいますが、大多数は退職者で高齢、SNSに詳しいですか？と聞かればNoです。

Facebookとなると少数派に入ります。実名かつ基本的に顔写真の登録が必要とのこと、それに規約違反にも気を配らなければならない。この歳になって、自分をさらけ出し、またトラブルを起こしたくない、LINEとかYouTubeで結構じゃないか、というのが私の心境です。この講義を開いてくださった役員の

方々には申し訳ありません、でも参加者でやってもいいという人が1人あり、私は救われた感じがしました。これから先、これをやっていないと世の中から取り残されるということになれば考えます…生涯活動の難しいところですね。

(記・市民人材バンク推進員の会 荒井 章夫)



展示コーナー

■ウクライナ語紹介
畑山 弘忠さん (No.436)
2月27日～3月27日



■俳句紹介
世羅 陽一郎さん (No.301)
3月28日～4月26日

推進員のつぶやき

コロナ禍の自粛から徐々に日常を取り戻しつつあります。そして地域のイベントもまた、戻りつつあります。イベントを開催する上で、一番難しいのはやはり「発信力」。いいイベントを企画しても、参加したり見てももらわないと意味がありません。インターネットのツールもありますが「王道」と呼ばれるようなものはなく、市の広報や掲示板の方がまだまだ発信力があります。そして「登録者のわ」も。新しいことに挑戦しつつも、まだまだ「紙」の力を感ずる最近です。

(記・市民人材バンク推進員の会)

伊勢田 幸正

新規登録者

	なまえ	指導・協力内容	指導料	実費
個人	島田 慎也	ギター、ドラムのレッスン	無	有 (1回1,000円)
個人	相澤 健二	イベント協力	無	無
個人	相澤 美代子	イベント協力	無	無
個人	河合 真世	イベント協力	無	無
個人	篠原 通裕	イベント協力	無	無
個人	鈴木 光代	認知症について (共に認知症を学び、認知症の方が、家庭・地域で理解され、家族と共に明るく生活するための工夫を学びます)	無	有 (コピー代1枚10円)
個人	鈴木 光代	イベント協力	無	無